

## □第41回 ISF に参加

### フットケアの実演で好評博す

国際靴・雑貨見本市、ISF が去る9月29日(水)～10月1日(金)、東京の池袋サンシャインシティ文化会館で開催され、当協会も FSI のご協力で実演コーナーを設け参加した。

ISF(インターナショナル・シュー・& レザーグッズ・フェア)は前回からウェルネスとファッションをキャッチフ



FSI と当協会のブース

レーズに掲げ、特に従来にない健康と美を前面に打ち出して力を入れている。当協会のフットケア実演はまさにそのコンセプトに当てはまるものだった。実演には理事で事務局長の大岩久恵氏(フットケアサロン那由他 代表)とそのスタッフ3名、計4名が当たり、会期3日間の訪問者は113名にのぼって、ほとんど休む暇のない盛況で数多くある出展社の中でも人気を博した。フットケアとJAFTAのPRに手応えを感じることができた3日間だった。

訪問者の内訳は女性76%、男性24%、年代別では30代=31%、20代=30%が多く、やはりキャリアウーマンが中心だったといえる。これらの人々の足の悩みは①タコ=32%、②むくみ=19%、③爪トラブル=13%、④角質=10%、⑤魚の目=9%などの順であった。



イベントコーナーで講演する大岩久恵氏

また会場の一角に設けられたイベントコーナーでは大岩久恵氏の講演「足から健康に。顧客に伝えたいフットケア」も行い多数の来場者にフットケアの紹介をした。

この見本市は国内外の靴・雑貨関連グッズを取り扱う176社が出展、来場者は4,800人あまりだった。